

東京大学東洋文化研究所  
附属東洋学研究情報センター

平成 14 年度事業報告

## 東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター

設 立 平成 11 年 4 月 1 日  
所在地 〒113-0033  
東京都文京区本郷 7-3-1  
電 話 03-5841-5839  
FAX 03-5841-5898  
URL <http://ricas.ioc.u-tokyo.ac.jp/>

### 現状と課題（平成 14 年度）

#### はじめに

東洋学研究情報センター（Research and Information Center for Asian Studies, 以下、センターと略）は、東洋学文献センター（1966 年設置）に代わる東洋文化研究所の附属施設として、1999 年 4 月 1 日に新設された。センターは、「アジア資料学」という研究分野を確立することを目的とし、アジア研究のための資料・情報を組織的に収集・蓄積しデータベース化すること、および資料そのものの性格について研究することを任務としている。センターの研究分野は造形資料学分野と比較文献資料学分野とに分かれる。造形資料学分野は、美術作品・建築・考古資料・民族学資料・地図・挿絵・映像・写真等の非文字資料を、比較文献資料学分野は、漢文や中国語に限らずさまざまなアジアの言語で書かれた書籍、新聞雑誌、文書、碑文等の文字資料を研究対象とする。センターの教官スタッフは、造形資料学分野担当の教授・助教授各 1 と、比較文献資料学分野担当の教授・助教授各 1 に、それらを補佐する助手 1、さらにセンター教官と協力してプロジェクトを推進する客員教授 1 からなる。

平成 14 年度のセンタープロジェクトは、前年度に引き続いて中国絵画デジタル・アーカイヴと倉石文庫漢籍目録の両事業を実施したのに加え、イスラーム地域文献資料、在外日本企業作成資料、「荒木文書」、アジアの世論調査の現状と課題、イスラーム地域造形資料に関する各プロジェクトを新たに実施した。以上のセンタープロジェクトと、文部科学省科研費などで進める一般プロジェクトなどの各研究において、データベース化事業の推進と平行して、資料そのものの性格を検討する研究を通じて、センターが目的とするアジア資料学の構築を

目指して事業を展開した。また、これらのデータベースを公開するセンターのホームページを一新するとともに、漢籍整理長期研修を実施し、ニューズレター『明日の東洋学』と文献目録資料『東洋学研究情報センター叢刊』を刊行するなど、成果の公開・発信に努めた。全国文献・情報センター長会議や同共催セミナーへの参加をはじめ、学内外の関係機関との交流にも努めた。

## A 人員・施設

### 1. 教職員

研究情報センター長	教授（併任）	田中 明彦
研究情報センター主任	教授	長澤 榮治
	教授	濱下 武志
	助教授	板倉 聖哲
	助手	大田 省一
	客員教授	高島 淳
業務掛	掛長	佐々木郁子

### 2. 施設

#### 現在面積

事務室	64	平方米
作業室1	24	〃
作業室2	48	〃
計	136	平方米

## B 本年度実施状況

### 1. センタープロジェクト

データベース・プロジェクトの進行状況は次の通りである。ウェブ上で公開してあるものに( ), 科研費が付いているものに( )を付した。

#### (a) 重点プロジェクト

##### (1) イスラーム地域文献資料データベース構築

近現代西アジアのアラビア文字による歴史資料のデジタル化とデータベース構築のための基礎作業を行った。初年度である本年度は、近代エジプト社会史基本資料のアリー・ムバーラク『新編地誌』と革命前エジプト議会議事録を取り上げた。デジタル化した資料の検索システム構築のために『新編地誌』全20巻のうち7巻分の索引、議事録については実験的に下院一会期分の索引の入力作業を行った。また、オスマン帝国官報の索引の入力作業も行った。

##### (2) 在外日本企業作成資料のデータベース化

在外企業関係の目録データベースを作成する作業を以下のように進めた。

1. およそ1100社にのぼる会社・企業・機関の名称と関係分野をすべて入力し、業種別、機関別、地域別の各項の分類検索ができるように編集した。地域別の例としては、「満州」「朝鮮」「台湾」「南洋」「日本」が柱となる。
2. 金融機関資料についても目録データベース作成を進め、そのなかでも、いくつかの支店を抽出して、その支店に関わる経営帳簿と関連資料を年次別に整理分類し、入力した。これによって、今後、どのような研究が可能であるかという範囲と規模を特定できると考えている。

##### (3) 中国絵画デジタル・アーカイブ・プロジェクト( )

中国絵画写真アーカイブに保存されるモノクロ・フィルムのデジタル化は急務であるが、それを昨年度に引き続き継続して行った。これによって『中国絵画総合図録』正編第3巻分がほぼ終了した。又、それと並行して未調査の機関・個人の資料を継続して収集している。今回の対象は、関西地方の美術館新収品、および個人コレクションで、新たに加わった写真資料・文字データの整理を行った。

##### (4) 東洋文化研究所所蔵「荒木文書」のデジタル情報化

本プロジェクトでは二つの作業を行った。一つは、本所所蔵の清朝が行った建築関係文書類(「貴重甲65」から「貴重甲72」)の詳細な目録を作成するための基礎データ入力で、本年度は1377件の入力終了し残すところは267件である。

来年度は目録を出版する予定である。もう一つは、表装された清朝建築図面のうち清朝皇帝陵墓に関する図面の大型カメラによる高精度撮影と、撮影画像のデジタルデータ化であり、32点の図面につきデータをDVDに収録した。今後も残る21点の図面の撮影・デジタル化を行い、最終的に図録を出版する予定である。

(5) 倉石文庫漢籍のデータベース作成

全4300部のデータの入力作業はすべて完了した。しかしながら、一部のデータについては、現物との再照合・校正の作業が残ってしまっている。したがって、WEBサイトでの公開ははまだ試験中である。また、このデータを、図書室での出納業務に利用するためには、データの若干の追記が必要とされている。

(6) アジアの世論調査の現状と展望

アジアの社会科学研究的発展には、世論調査の標準化、定期化が不可欠である。2002年は2003年度以降本格的に動き始める設立計画の前準備として、6月には本プロジェクトの主要メンバーによる会議を開き、11月には2001年にアジアとヨーロッパ計18ヶ国で行われた世論調査を基に、各国の研究者が論文を執筆、発表した。この経験を今後のアジア世論調査機構設立の基礎としていく。

(b) 試行プロジェクト

(1) 東洋文化研究所所蔵中国雑誌目録の作成とデータベース化

全2800点のデータの入力作業はすべて完了した。しかしながら、現物との照合・校正の作業は6割強が残ってしまった。また、データ入力の基本データは3年前のものであるため、照合・校正作業のほかに、最近のタイトル増加分、および停刊・所蔵状況などのデータの追加がなお必要とされている。

(2) イスラーム地域造形資料データベース構築

本年度は4つの異なったデータベース作成作業が同時進行した。イスラーム建築については東洋文化研究所所蔵のインド・イスラーム建築写真資料のデジタル化・データベース化が引き続き行われた。イスファハーン古地図よりの地名データベース作業はほぼ終了した。イル・ハーン朝タイルのデザイン・銘文については現存資料をスキャナで取り込む作業が行われ、日本所蔵のイスラーム美術作品については所在の確認・調査が行われた。

(c) 一般プロジェクト

(1) 造形資料データベース化プロジェクト

中国絵画所在データベース公開のための文字データの準備作業を行った。『中国絵画図録』正編の文字データと画像を一つ一つ対照して、その誤りを訂正し、

順次公開用のデータとして加工，アップした。また，『中国絵画総合図録』続編のデータを加えていくため，同様の整理を並行させて行っている。中国絵画所在データベースは東洋学研究情報センターのホームページ上で現在試験公開中である。

(2) 江戸時代『左伝』刻本データベースの構築

江戸時代に多くの刻本が出版され，注釈が編まれたことが知られている。それらをまとめる上で重要な位置を占めるのが，竹添光鴻『左氏会箋』である。この書物は膨大な材料をコンパクトにまとめる過程で原著書の名が消えた。それらをこまめに補う作業などを進めたのが上野賢知『左氏会箋遡源』である。本年は，この『遡源』の書き入れから江戸時代注釈部分を抜き出し，『左氏会箋』初版本からそれらがたどれるよう画像化を進めた。

(3) 東京大学東洋文化研究所漢籍目録データベース( )

本年度は，プロジェクトの第5年度の計画通り，未収書漢籍(『冊子体漢籍目録』刊行後に蒐集した漢籍)12,000件を入力し，5年間での総入力件数は，約7万件となった。画像入力も予定どおり3,000件を入力し，総入力件数は約5,000件である。また，全国漢籍データベース協議会の幹事機関として，入力データは全国版に提供した。科学研究費補助金による事業としては今年度で終了するが，今後も事業は継続される。

(4) 中国近現代文学関係雑誌記事データベース( )

日本学術振興会の科研費(研究成果公開費)によるデータベースの作成であるが，本年度のデータ入力予定量 4,000件(0.6MB)は完了し，1,000余件超過達成した。成果は当研究所のホームページで公開しているが，全国および世界各国からアクセスがあり，大きな効果を挙げている。

(5) ヒンドゥー儀礼研究基礎資料作製データベース

牧畜儀礼，願望的ソーマ祭式，死の予兆と克服儀礼，カーリカー・プラーナが描く女神崇拜儀礼，タントラのシヴァ教儀礼などを中心にヴェーダ祭式からヒンドゥー儀礼にいたる基礎的な儀礼情報を蓄積した。現在そのデータは9.5メガバイト，約65,000行になった。

(6) 国内所蔵南アジア関係写本のデジタル化に向けて

班研究の研究協力者を中心に，写本のデジタル・データベース構築のためのソフト関係のシステムをほぼ作り上げた。同時に，附属図書館所蔵の南アジア関係写本のカタログを参照して，密教関係の写本を中心にデジタル化を行うテキストの選定を行った。

(7) アラビア文字圏近現代データベース形成の手法の研究

近現代のアラビア文字圏に関する政治社会分析の基礎資料となる議会議事録・官報・法令集・政府年鑑・地誌等のデジタル化とデータベース形成の手法を開発のために、本年度は財団法人東洋文庫所蔵のイラン国会議事録（下院）の一部のマイクロフィルム化とデジタル化による基礎資料の作成を行ない、アラビア語の法令集データベースの分析やアラビア語OCRソフトを用いたアラビア文字読み取りの試行など実験的作業も並行して行なった。

(8) 戦後日本政治・外交データベース（ ）

日本の内政・外交ならびに国際関係に関する重要な政治文書（国会内外の演説，条約，共同宣言など）の全文テキストを収録するデータベースである。科学研究費補助金の研究成果公開促進費（データベース）で構築にあたり，平成15年3月末現在で，約2500件の文書の全文テキストが公開されており，これらすべての文書について全文検索プログラムが利用できる。「データベース『世界と日本』」（<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/~worldjpn/>）の一部を構成する。

(9) データベース20世紀年表（ ）

20世紀の全期間における日本および世界の重要な出来事を網羅的に収録する，インターネット上でも最大規模の年表データベースである。平成12年度までは，科学研究費補助金の研究成果公開促進費（データベース）でデータベース構築にあたり，平成14年3月末現在，1900年から1999年をカバーし，データ項目は，総計で18万5212件となった。「データベース『世界と日本』」（<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/~worldjpn/>）の一部を構成する。

## 2. 公開・発信

(a) ホームページの更新

平成14年11月にセンターホームページのフロントデザインを一新した。

(b) データベース公開

平成13年度に終了した「東アジア族譜データベース」プロジェクトの成果を「朝鮮族譜データベース」として新たに公開し，「インド・イスラーム史跡データベース」に英語版フロントページを追加した。

その他のデータベース・プロジェクトのうち，公開済のものには上記項目2のリストに 印を付した。なお，平成14年4月1日から平成15年3月31日までの各データベースのアクセス件数は「朝鮮関係」（「近代朝鮮関係書籍データベース」および「朝鮮族譜データベース」）724,554件，「中国近現代文学関係雑誌

記事データベース」12,605件,「南アジア文献検索データベース」6,910件,「インド・イスラーム史跡建築データベース」106,288件,「イスラーム事典データベース」47,192件,「世界と日本」(「戦後日本政治・外交データベース」および「データベース20世紀年表」)2,005,350件であった。

(c) アジア・デジタル展示館

本研究所が所蔵する貴重書,写真,考古資料等のデジタル化と公開を継続中である。平成14年4月1日から平成15年3月31日までのアクセス件は,「古籍線装書」1,496件,「インド・イスラーム史跡建築データベース」106,288件,「西域壁画断片」6,165件であった。また,新たにダイバー・コレクション(アラビア語写本)の公開を準備中である。

(d) 出版

東洋学研究情報センター叢刊第2輯『東京大学東洋文化研究所夕嵐草堂文庫目録』を刊行した。またニューズレター『明日の東洋学』第8~9号を刊行し,第1~9号のPDFファイルをウェブ上で配布している。

(e) 漢籍整理長期研修

平成14年度は6月24日~10月4日に実施し,7名が受講した(日程及び受講者名簿は12~13頁を参照されたい)。

平成13年度から,この研修の一部を人文社会系研究科文化資源学専攻の授業として扱うことになり,今年度は院生4名が受講した。

(f) 平成14年度全国文献・情報センター人文社会科学学術情報セミナー

本年度は神戸大学経済経営研究所附属政策研究リエゾンセンターが当番校で,「データベースの活用と人文社会科学」をテーマとして,11月18日~19日に神戸大学,22日に東京大学山上会館で開かれた。本センターは「アジア資料学とデータベースの活用」のセッションに参加した。

3. 第38回(平成14年度)全国文献・情報センター長会議

今年度は一橋大学経済研究所附属社会科学統計情報研究センターが当番校で,平成15年1月24日(金)に学術総合センターで開催された。



## C 新年度の事業目標

平成15年度のセンタープロジェクトとしては、前年度に引き続き、中国絵画デジタル・アーカイブ、イスラーム地域文献資料、「荒木文書」、イスラーム地域造形資料、研究所所蔵中国雑誌目録、在外企業作成資料に関する各事業を実施するのに加えて、今年度から、貴重漢籍の補修とデジタル化、アジア・バロメーター、アジア研究情報ホームページ、英領植民地ビルマにおける借金文書、ダイバー・コレクションに関する各プロジェクトを新たに実施する。

上記の新プロジェクトの中で、アジア・バロメーターとアジア研究情報ホームページの二事業は、新しい型のプロジェクトである。従来のセンタープロジェクトが、主として文献・造形資料のデータベース化を目指してきたのに対し、これらの新しい型のプロジェクトは、アジア研究に関する情報を収集・整理・蓄積・公開することを目指している。こうした新事業の展開を通じて、従来のアジア各地域・各分野に関する先端的な研究を支えるデータベース資料の構築に加え、アジア研究情報を収集・加工・発信する研究情報センターとしての機能がさらに強化され、また学界や社会に対して大きな貢献がなされることを期待している。

また、従来のデータベース構築型のプロジェクトについても、完成したデータベースは順次ウェブ上で公開してゆく予定である。平成13年度から開始した東洋文化研究所所蔵の貴重書のデジタル画像化とウェブ上での公開もさらに推進したい。『東洋学研究情報センター叢刊』も、『明日の東洋学』と同様に公開することを検討する。

以上のデータベース、貴重書の画像ファイル、刊行物をデジタル化したファイル、アジア・デジタル展示館を結合させ、造形・文献両資料にまたがる「デジタル・アーカイブ」に発展させる構想をもとに、前年度に一新したセンターのホームページのさらなる充実を目指したい。

成果の公開・発信の事業の一環として、引き続き漢籍整理長期研修を実施するとともに、ニューズレター『明日の東洋学』および文献目録資料『東洋学研究情報センター叢刊』を刊行する。また、全国文献・情報センター長会議や同共催セミナーへの参加をはじめ、学内外の関係機関との交流にも努めたい。とくに、研究方法や資料公開の方法の類似している東大内外の機関との間で、共同でできるプロジェクトを企画し、その実施を図ることは重要な課題である。

上記に述べた積極的な事業展開のためには、これまでのセンター校費だけでは不十分である。データベース化事業や新事業のアジア研究情報に関する新プロジェクトの実施に当たって、科研費の申請など競争的経費の獲得を引き続き目指していきたい。また、同様に、既に狭隘化しているセンターのスペースを拡大することも緊急の課題である。

## 東京大学東洋文化研究所東洋学研究情報センター叢刊既刊一覧

### 東洋学研究情報センター叢刊

- 第1輯 東京大学東洋文化研究所蔵田中則雄氏旧蔵書目録 2002 .
- 第2輯 東京大学東洋文化研究所蔵夕嵐草堂文庫目録 2003 .

### 東洋学文献センター叢刊

- 第1輯 東洋文化研究所東洋学文献センター 新収図書目録(昭和41年度)1968 .
- 第2輯 清代地方劇資料集(一)1968 .
- 第3輯 清代地方劇資料集(二)1968 .
- 第4輯 周揚著訳論文・周揚批判文献目録 1969 .
- 第5輯 郁達夫資料 1969 .
- 第6輯 東洋文化研究所東洋学文献センター 新収図書目録(昭和42・43年度)1970 .
- 第7輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇(上)1970 .
- 第8輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇(中)1970 .
- 第9輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇(下)1970 .
- 第10輯 李大 文献目録 1970 .
- 第11輯 明刊元雜劇西廂記目録 1970 .
- 第12輯 朝鮮研究文献目録 単行書篇・編著者名索引 1970 .
- 第13輯 魯迅全集注釈索引 1971 .
- 第14輯 1930年代中国文芸雑誌(一)1971 .
- 第15輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事篇(1)1972 .
- 第16輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事篇(2)1972 .
- 第17輯 朝鮮研究文献目録 論文・記事篇(3)1972 .
- 第18輯 郁達夫資料補篇(上)1973 .
- 第19輯 切韻残卷諸本補正 1973 .
- 第20輯 目録学 1973 .
- 第21輯 花間集索引 1974 .
- 第22輯 郁達夫資料補篇(下)1974 .
- 第23輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集(一)1975 .
- 第24輯 江西蘇区文学運動資料集 1976 .
- 第25輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集(二)1976 .
- 第26輯 民国以来人名字号別名索引 1977 .
- 第27輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雑誌記事総目(一)1978 .
- 第28輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集(三)1978 .
- 第29輯 中国左翼文芸理論における翻訳・引用文献目録 1978 .

- 第 30 輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（四）1979 .
- 第 31 輯 儀礼疏攷正（上）1979 .
- 第 32 輯 儀礼疏攷正（下）1979 .
- 第 33 輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（五）1980 .
- 第 34 輯 小説月報（1920 - 1930）總目錄 1980 .
- 第 35 輯 コミンテルン定期刊行物 中国關係論説・記事索引 1981 .
- 第 36 輯 魯迅文言語彙索引 1981 .
- 第 37 輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雜誌記事總目（二）1981 .
- 第 38 輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雜誌記事總目（三）1982 .
- 第 39 輯 仁井田陞博士輯 北京工商ギルド資料集（六）1983 .
- 第 40 輯 東洋文化研究所所蔵 中国土地文書目錄・解説（上）1983 .
- 第 41 輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雜誌記事總目（四）1983 .
- 第 42 輯 校合本 大越史記全書（上）1984 .
- 第 43 輯 『植民地雜誌』(Koloniaal Tijdschrift) 所収論文目錄 1984 .
- 第 44 輯 校合本 大越史記全書（中）1985 .
- 第 45 輯 江西蘇区紅色戲劇資料集 1985 .
- 第 46 輯 宋之問詩索引 1985 .
- 第 47 輯 校合本 大越史記全書（下）1986 .
- 第 48 輯 東洋文化研究所所蔵 中国土地文書目錄・解説（下）1986 .
- 第 49 輯 許舒博士所輯 廣東宗族契拋彙錄（上）1987 .
- 第 50 輯 沈<sub>イ</sub>期詩索引 1987 .
- 第 51 輯 中華人民共和国・朝鮮民主主義人民共和国 職官歴任表 1987 .
- 第 52 輯 韓国政治エリート研究資料 - 職位と略歴 - 1987 .
- 第 53 輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雜誌記事總目（五）1988 .
- 第 54 輯 許舒博士所輯 廣東宗族契拋彙錄（下）1988 .
- 第 55 輯 南嶽思大禪師立誓願文索引 - 六朝隋唐宗教・思想資料 - 1988 .
- 第 56 輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雜誌記事總目（六）1988 .
- 第 57 輯 郁達夫資料總目錄附年譜（上）1989 .
- 第 58 輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雜誌記事總目（七）1989 .
- 第 59 輯 郁達夫資料總目錄附年譜（下）1990 .
- 第 60 輯 山西票号資料 書簡篇（一）1990 .
- 第 61 輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雜誌記事總目（八）1990 .
- 第 62 輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雜誌記事總目（九）1991 .
- 第 63 輯 自一九二七年至一九三七年 日本現存短期零本中国雜誌記事總目収載雜誌名索引  
1992 .
- 第 64 輯 許壽裳日記（自 1940 年 8 月 1 日至 1948 年 2 月 18 日）1993 .

- 第 65 輯 許舒博士所蔵商業及土地契約文書 乾泰隆文書 (1) 1995 .
- 別輯 1 東京大学東洋文化研究所漢籍分類目録 (書名・人名索引)  
京都大学人文科学研究所漢籍分類目録 (書名・人名通檢)
- 別輯 2 海外所在中国絵画目録 (アメリカ・カナダ編) 1977 .
- 別輯 3 海外所在中国絵画目録 (東南アジア・ヨーロッパ編) 1981 .
- 別輯 4 日本所在中国絵画目録 (寺院編) 1982 .
- 別輯 5 LABRANG 李安宅の調査報告 1982 .
- 別輯 6 日本所在中国絵画目録 (博物館編) 1982 .
- 別輯 7 日本所在中国絵画目録 (個人蒐集編) 1983 .
- 別輯 8 中国經濟關係雜誌記事総目録 (一) - 『中外經濟周刊』『經濟半月刊』『工商半月刊』 - 1983 .
- 別輯 9 孟郊詩索引 (上) 1984 .
- 別輯 10 孟郊詩索引 (下) 1984 .
- 別輯 11 中国經濟關係雜誌記事総目録 (二) - 『國際貿易導報』 - 1985 .
- 別輯 12 中国經濟關係雜誌記事総目録 (三) - 『中行月刊』 - 1985 .
- 別輯 13 『内務行政雜誌』所収論文・記事目録 (A Catalogue of the Articles in Tijdschrift voor het Binnenlandsch Bestuur) 1985 .
- 別輯 14 中国經濟關係雜誌記事総目録 (四) - 『銀行週報』(上) - 1987 .
- 別輯 15 春秋晋国『侯馬盟書』字体通覧 - 山西省出土文字資料 - 1988 .
- 別輯 16 中国經濟關係雜誌記事総目録 (五) - 『銀行週報』(下) - 1989 .
- 別輯 17 海外所在中国絵画目録 改訂増補版 (ヨーロッパ編) 1992 .
- 別輯 18 海外所在中国絵画目録 改訂増補版 (アメリカ・カナダ編 上 本文編) 1994 .
- 別輯 19 海外所在中国絵画目録 改訂増補版 (アメリカ・カナダ編 下 索引編) 1994 .
- 別輯 20 『販書偶記』正統編合併刊行目録 1995 .
- 別輯 21 海外所在中国絵画目録 改訂増補版 (東アジア編) 1997 .
- 別輯 22 日本所在中国絵画目録 続編 1998 .
- 別輯 23 天津史文献目録 1998 .
- 別輯 24 東京大学東洋文化研究所仁井田文庫漢籍目録 1999 .

## 大型コレクション目録

Catalogue of the Arabic Manuscripts in the Daiber Collection, 1988.

Catalogue of the Arabic Manuscripts in the Daiber Collection II, 1996.

平成14年度漢籍整理長期研修 日程・課目・講師

日 程	課 目	9:00~ 12:00	13:00~ 17:00	講 師	備 考
6月24日(月)	開講式(9:30~) オリエンテーション			田中明彦 (東洋学研究情報センター長) 長澤榮治 (東洋学研究情報センター主任)	
6月24日(月)	漢籍版本目録概説	講義	講義	大木 康 (東洋文化研究所助教授)	
6月25日(火)	経部書・史部書について	講義	講義	宇佐美文理 (京都大学助教授)	
6月26日(水)	子部書・集部書について	講義	講義	井波陵一 (京都大学教授)	
6月27日(木)	朝鮮本について	講義	講義	藤本幸夫 (富山大学教授)	
6月28日(金)	漢籍目録法概説	講義	講義	橋本秀美 (東洋文化研究所助教授)	
7月1日(月)~ 2日(火)	漢籍整理実習 第一部	実習	実習	陳 捷 (日本女子大学講師)	
7月3日(水)	東洋文庫について	講義	講義	中善寺 慎 (東洋文庫司書)	見学を含む
7月4日(木)	中国書史概説	講義	講義	高津 孝 (鹿児島大学教授)	
7月5日(金)	漢籍整理実習 第二部(1)	実習	実習	橋本秀美 (東洋文化研究所助教授) 大木 康 (東洋文化研究所助教授)	
7月8日(月)~ 9月27日(金)	所属図書館所蔵漢籍整理 及び研究	自習	自習		
9月30日(月)	漢籍整理実習 第二部(2)	実習	実習	橋本秀美 (東洋文化研究所助教授) 大木 康 (東洋文化研究所助教授)	
10月1日(火)	和刻本について	講義	講義	長澤孝三 (国立公文書館公文書研究官)	内閣文庫見学を含む
10月2日(水)	漢籍補修法	講義	講義	横山謙次/安藤 清 (宮内庁書陵部)	
10月3日(木)	漢籍文庫経営法	講義	講義	高橋 智 (慶應義塾大学助教授)	
10月4日(金)	午前:漢籍データベース 作成過程見学 午後:現代中国書について		講義	丘山 新 (東洋文化研究所教授) 尾崎文昭 (東洋文化研究所教授)	
10月4日(金)	修了式(4:30~)			田中明彦 (東洋学研究情報センター長) 長澤榮治 (東洋学研究情報センター主任)	

都合により課目・講師等を変更することがあります。

平成14年度漢籍整理長期研修研修員名簿

所 属 図 書 館	氏 名
山形大学附属図書館	ほその みさと 細野 美里
東北大学附属図書館農学部分館	はんざわ ともえ 半澤 智絵
東京大学附属図書館	やまぐち かおり 山口 香織
東洋文化研究所図書室	うえだ こういち 上田 公一
一橋大学附属図書館	とよた ひろあき 豊田 裕昭
大阪大学附属図書館	たかやま ひろみ 高山 広美
国立国会図書館	やまもと あきこ 山本 晶子

### センター所蔵資料点数

図 書		マイクロフィルム	
和 漢 書	15,245 冊	ネ ガ	986 リール
洋 書	790 冊	ポ ジ	3,522 リール
計	16,035 冊	計	4,508 リール

平成14年度は図書2冊（和漢書）を受け入れ、132冊（和漢書130冊、洋書2冊）を廃棄した。

### 受入新聞（原紙）一覧

紙 名	発行地	所 蔵
【日本語】		
中国通信	東京	1950 . 10 ~
朝鮮通信	東京	1963 . 4 ~
朝鮮時報	東京	1964 . 3 ~
【中国語】		
中国文物報	北京	1988 . 1 ~
明報	香港	1978 . 12 ~
【韓国語】		
東亜日報（日本版）	東京	1982 . 11 ~

上記のセンター所蔵資料および受入新聞は、東洋文化研究所図書室において管理し、利用に供している。

参考：図書室閲覧統計

閲覧者 ( )内：国外からの利用者内数					
区分 年度	学内		学外		計
	学 生	教職員等	学 生	教職員等	
H9	1,724(592)	310(107)	1,706(599)	1,005(216)	4,745(1,454)
H10	2,339(720)	465(208)	1,779(280)	1,366(201)	5,949(1,409)
H11	2,296(658)	352(146)	1,595(229)	1,434(227)	5,617(1,254)
H12	1,873(435)	465(221)	1,121(118)	948(125)	4,407 (899)
H13	1,975(424)	563(279)	1,186(111)	963(159)	5,946 (973)
H14	2,418(390)	584(114)	1,139(78)	963(159)	5,946 (637)

利用冊数		
	図 書	雑 誌
H9	17,901	8,011
H10	27,749	8,545
H11	34,822	10,423
H12	17,293	9,490
H13	30,917	11,576
H14	25,536	12,943

複写件数（電子複写）		
	学 内	学 外
H9	1,364	1,652
H10	1,564	1,768
H11	1,571	1,745
H12	1,689	1,463
H13	1,736	1,503
H14	2,076	1,511

開館日数	
H9	224
H10	234
H11	235
H12	238
H13	235
H14	233



平成14年度東洋学研究情報センター 決算

予算及び決算

(単位：千円)

予算科目	当初予算	追加配分	決算額	備考
(目) 諸謝金	771	0	771	
(目) 員等旅費	911	0	911	
(目) 職員旅費	1,740	0	1,740	
(目) 校費	14,354	0	14,354	
計	17,776	0	17,776	

決算額内訳

(単位：千円)

予算科目	内 訳	決 算	備 考
(目) 諸謝金	漢籍整理講習会講師謝金 7名	521	
	ニューズレター原稿料 2名	88	
	講演謝金 3名	94	
	その他の謝金 1名	68	
(目) 員等旅費	漢籍整理講習会講師旅費 7名	237	
	漢籍整理講習会受講生旅費 5名	609	
	研究所主催研究会旅費 2名	65	
(目) 職員旅費	5センター関係	707	
	調査研究等	991	
	研修出張	42	
(目) 校 費	図書費	130	
	新聞費	599	
	貴重書デジタル化費用	388	
	備品費	359	
	印刷費	324	
	センター叢刊出版費	399	
	消耗品	487	
	会議費	7	
	複写費	138	
	センタープロジェクト費	11,523	
	計	14,354	
			内訳は次ページ参照

センター校費プロジェクト決算報告（平成14年度）

件数	プロジェクト名称	担当教官	予算 (千円)	決算 (千円)
1	倉石文庫漢籍のデータベース作成	尾 崎	0	0
2	中国絵画デジタル・アーカイブ・プロジェクト	小 川	2,500	2,440
3	在外日本企業作成資料のデータベース化	濱 下	2,150	2,161
4	イスラーム地域文献資料データベース構築	長 澤	2,190	2,236
5	東洋文化研究所蔵「荒木文庫」のデジタル情報化	大 田	2,500	2,644
6	アジアの世論調査の現状と展望	猪 口	600	568
7	イスラーム地域造形資料データベース構築	榊 屋	1,450	1,474
計			11,390	11,523